

令和5年度「食の安全に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q2「食の安全に関する情報は、主にどこから入手していますか。」の質問に対し、「ウ SNS (Twitter・Facebook 等)」(29.5%)が約3割と多かったことから7月31日に横浜市公式Twitter及びLINEを用いて、「カンピロバクター食中毒予防啓発キャンペーン」の情報を発信し、周知を行いました。

アンケートの結果を活用し、今後も様々な啓発媒体により食品衛生に関する知識の普及啓発や食品表示制度の周知を行っていきます。

2 アンケートを実施した感想

食品衛生課では、一般社団法人食品衛生協会と共催で毎年7月から11月に「食中毒予防キャンペーン」を開催しており、その認知度について調査しましたところ、Q10「食中毒予防キャンペーン」を知っていますか」の質問に対し、約半数の方が「知らない」(56.0%)という結果になりました。またQ11「区民まつりにおいて、食品衛生に関するイベントに参加したことはありますか」の質問では、ここ数年はコロナ禍でイベントを実施できなかった影響もあり、「参加したことがない」が95.0%と参加率がとても低い結果となりました。また、Q20「自由意見」では「取組に関してあまり目にするのがないので、もっと告知してほしい」とのご意見を多くいただきましたので、今後は動画やSNSなどを活用し、様々な世代に向けて食中毒予防キャンペーンに参加してもらえよう告知に力を入れていきたいと思っております。

Q17「あなたは食品を購入する際、どの表示事項を確認して購入しますか」の質問では、「キ 賞味期限・消費期限」の回答が81.8%、「イ 原産地・原料原産地」の回答が65.1%と多い結果となり、Q18「Q17で選んだ理由を教えてください。」の質問では、食品表示や安全管理などについて様々なご意見をいただきました。今回のアンケート結果をもとに、今後の食品表示に関する監視指導や普及啓発において活用してまいります。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。
食の安全と食品表示に対する貴重なご意見を多数いただき、大変参考になりました。
市民の皆様の食の安全・安心を確保するため、今後も食品衛生業務に努めてまいります。

担当：医療局食品衛生課

ヨコハマeアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。